

子ども 鳥取県政 ついでに

小中学生向けに鳥取県の取組を紹介しています。



鳥取県のマスコットキャラクター

鳥取二十世紀梨記念館「なしっご館」のマスコットキャラクターとして、鳥取県のおいしい梨をPRしているよ。
性格は梨の味のようにさわやかだよ。袋の中で育てられたから世間知らずな面もあるんだ。

鳥取県の農業戦略

鳥取県の農業の将来像をどうやって描いているのかわかる？



農業戦略って何？

鳥取県は、人口が減っていたり、お年寄りの割合が増えたりしているんだ。農業をやっている人もお年寄りを中心だけど、10年後でも安心して元気に農業を頑張ってくれる人がいてくれるように、今のうちからどう農業を支えていくのか、県としての考え方を組み立てるってことなんだよ。



どんな風に考え方を組み立てるの？

今まで、頑張っている農家の方や農業に関係する仕事をしている方々から、農作業で困っていることやこうなってほしいという希望などを聞いてきたんだ。そこで出た農業を発展させるための夢や、古くから農村や農家が引き継いできた農業の話などを「鳥取県農業活力増進プラン」という計画にまとめようとしているんだよ。



計画ではどんなことをするの？

① 1つ目の目標は、農業をする人を増やすことなんだ。
新しく農業を始める人を支えたり、地域のみんなが支え合う農業を盛り上げたりなどして、地域でずっと農業を頑張っている人が出てきてくれるように支えていこうよ。



② 2つ目の目標は、農業を儲かる仕事にすることなんだ。
今は小さな規模の農家の方がたくさんいて、それぞれが農業を頑張って大変なんだけど、仲間同士が共同で農業をやったり、農業を若い人や雇った人に任せたり、値段の高いものや新しいものを作ったり、作り方や売り方を工夫したりできるように支えていこうよ。



③ 3つ目の目標は、鳥取県にしかない農産物の強みを活かすことなんだ。
鳥取県は、いろいろな特徴のある野菜や果物が採れるんだけど、農家の方や農業に関係する仕事をしている方々が、それを高級品として世界のお金持ちに売ったり、野菜や果物を原料にしてお菓子や調味料を作って、こだわりのある商品として高く売ってみたいできるように支えていこうよ。



4つ目の目標は、鳥取県の自然を活かしていくことなんだ。

山の奥の方は、人が少なくなってきて地域を支えにくくなっているんだ。でも、今まで地元の人にとっては当たり前だった自然そのものが都会の人には新鮮で楽しかったり、山から切った木や小川の水から薪や電気などのエネルギーが生まれたり、そこにしかない特産品があったりもするんだ。そんな自然の魅力を十分に活かしていけるような取組を支えていこうよ。



そうやって学校にも何か良いことがあるの？

「地産地消」って言葉があるんだけど、これは、地域で採れたものを地域で食べようってことなんだ。みんなが食べている学校給食には、地域で頑張る農家の方が作ったものがたくさん使われているんだ。これからも「鳥取県農業活力増進プラン」で農業を支えていくことによって、みんながたくさん新鮮な野菜や果物を食べることができるんだよ。だから、給食は残さないように食べてね。



全国に誇る 鳥取県の農産物

鳥取県産の主な農産物と生産量の順位

芝	全国第2位 (2011年)
らっきょう	全国第2位 (2012年)
すいか	全国第4位 (2012年)
日本梨	全国第4位 (2012年)
ねぎ	全国第8位 (2012年)
ブロッコリー	全国第8位 (2012年)
柿	全国第12位 (2012年)
にんじん	全国第18位 (2012年)



【出典】芝：農林水産省「平成24年産花木等生産状況調査」
らっきょう：農林水産省「平成24年産地域特産野菜生産状況調査」
日本梨・柿：農林水産省「平成24年産果樹生産出荷統計」
それ以外の野菜：農林水産省「平成24年産野菜生産出荷統計」